



平成23年10月20日

各 位

タツタ電線株式会社
(代表者名) 取締役社長 木村 政信
(コード番号5809 東証・大証第1部)
(問合せ先) 常務取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎
TEL (06) 6721-3011 (代表)

特別損益の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

1. 特別損益の発生見込みについて

① 貸倒引当金戻入額

当第2四半期において、得意先の財政状態の悪化に伴い設定している貸倒引当金について、当該取引先の収支状況の改善に伴う設定額の見直しにより8千万円の貸倒引当金戻入額（第2四半期累計期間では1億4千万円）の発生が見込まれます。

② 固定資産売却益

平成23年9月13日に公表しました固定資産の譲渡により当第2四半期において、固定資産売却益2億5千5百万円の計上が見込まれます。

③ 電線事業構造改善費用引当金の計上

電線事業の構造改革に伴う費用に備えるため、当第3四半期以降において電線事業構造改善費用引当金1億5千万円の計上を見込んでおります。

2. 最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想について下記の通り修正いたします。

(1) 第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
前回発表予想(A) (平成23年7月29日発表)	22,300	950	960	550	8円62銭
今回発表予想(B)	22,800	1,090	1,100	960	15円11銭
増減額(B-A)	500	140	140	410	—
増減率(%)	2.2	14.7	14.6	74.5	—
(ご参考) 前期実績	19,885	904	932	403	6円33銭

(2) 通期累計期間 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年5月10日発表)	43,000	1,800	1,850	1,100	17円24銭
今回発表予想(B)	43,000	1,950	2,000	1,400	21円94銭
増減額(B-A)	—	150	150	300	—
増減率(%)	—	8.3	8.1	27.3	—
(ご参考) 前期実績	43,239	2,362	2,422	560	8円79銭

修正の理由

(1)第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

売上高は、導電機能性材料を中心とする電子材料需要の増加により、前回予想値を上回る見込みであります。

利益面では、電線・ケーブル部門は石油関連材料価格の上昇と銅価急落による銅在庫評価損の発生による収支の悪化が見込まれますが、電子材料売上の増加により営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想値を上回る見込みであります。四半期純利益の増加が経常利益の増加を上回るのは前項1①、1②の特別利益の発生によるものであります。

(2) 通期累計期間 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

売上高は、銅価の下落による電線・ケーブル部門の減収に対し、導電機能性材料を中心とする電子材料需要の増加により、ほぼ当初予想並みと見込んでおります。

利益面では、電線・ケーブル部門は銅価急落による銅在庫評価損の発生が見込まれることによる収支の悪化に対し、電子材料売上の増加により営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想値を上回る見込みであります。当期純利益の増加が経常利益の増加を上回るのは前項の特別損益の発生によるものであります。

※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上